

松波小学校だより

第11号
令和7年2月25日
能登町立松波小学校

3月を迎えるにあたり



寒さが和らぎ、少しずつ春の兆しを感じる季節となりました。早いもので、いよいよ3月。今年度の最終月を迎えます。6年生は、卒業に向けて、他の学年の子どもたちは、1年間の総まとめに取り組んでいるところです。

2月21日金曜日に「卒業生との集い」を開催しました。昨年度は、能登半島地震の影響で規模を縮小しての開催でしたが、今年度は仮設体育館において従来の形で行うことができました。5年生を中心に、全校児童で当日までの準備を進めてきました。在校生の発表は、6年生のことを思いながら練習を積み重ねて作り上げた歌や合奏、劇などから、感謝や尊敬の気持ちが伝わりました。6年生は、在校生や保護者の皆様に向けて、お礼の気持ちを込めて、「ありがとう」のキーワードをちりばめ自分たちの思いを劇と歌で披露し感動を与えました。最後に「鼓笛引き継ぎ式」が行われ、6年生から5年生へと伝統ある松波小鼓笛隊のバトンが引き継がれました。さまざまなことに「最後」という言葉がつくようになった今、6年生が卒業まで限られた日々であることに寂しさを感じています。

3月19日水曜日は、その6年生14名が卒業します。6年生には、この1年間、松波小学校の中心となり、みんなを引っ張ってくれました。おかげで、明るく元気で地域に誇れる素敵な松波小学校になったと思います。6年生の皆さん、本当にありがとう！松波小学校で得た経験をいつまでも忘れることなく、歩み続けてほしいと願っています。14名の卒業生に明るい未来が拓けますように……。卒業生と保護者の皆様に心からお祝い申し上げますとともに、子どもたちへの指導・支援に関わってくださった多くの方々へ厚く感謝申し上げます。

最後になりましたが、今年度も残りわずかとなりました。保護者の皆様、地域の皆様、PTA各委員を始め、PTA活動にご尽力いただいた皆様には1年間を通して本校の教育活動にご協力をいただき、ありがとうございました。大変お忙しい中、松波小学校の子どもたちのために、お心を寄せていただきましたことに御礼申し上げます。今後とも、子どもたちのより良い未来を共に作り上げていけるよう、一丸となって努力してまいります。どうぞよろしくようお願い申し上げます。

能登町立松波小学校
校長 宮本 秀人